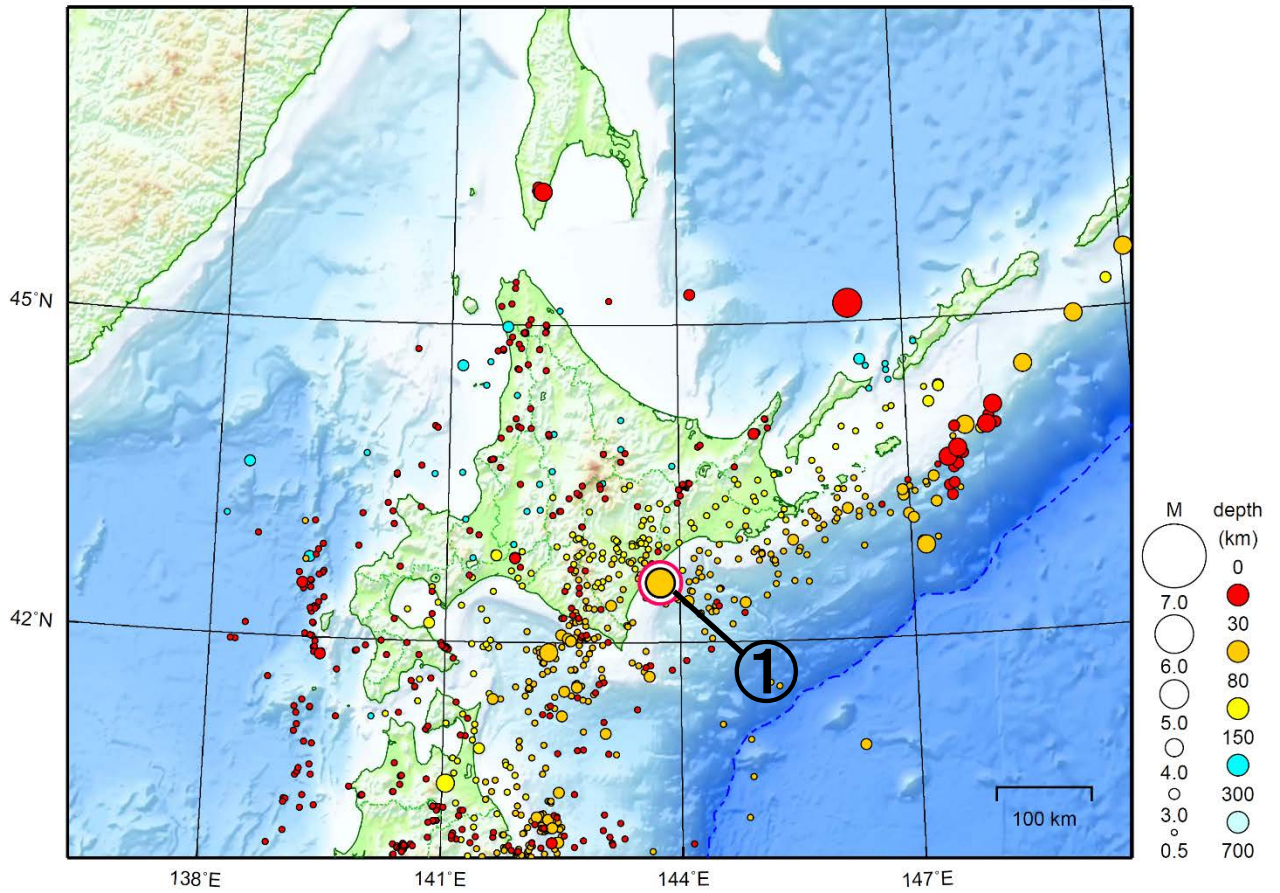


北海道地方

2017/11/01 00:00 ~ 2017/11/30 24:00

N=965



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

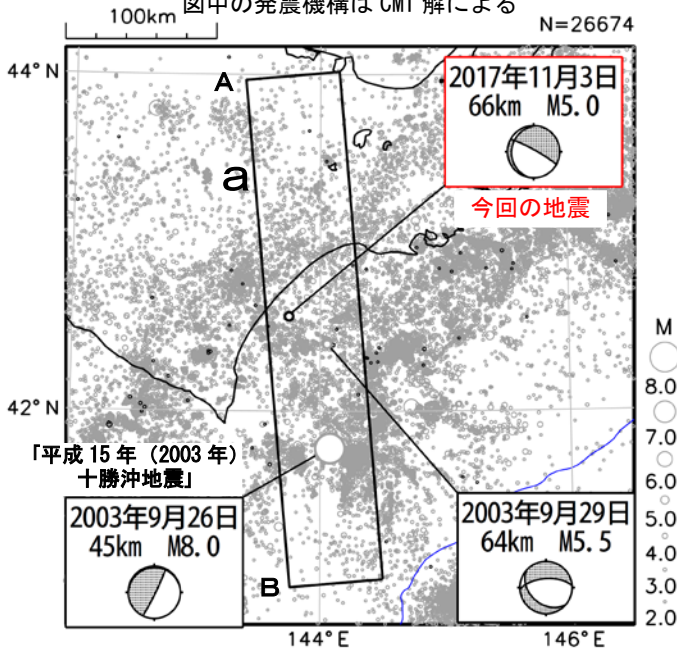
- ① 11月3日に十勝沖でM5.0の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月3日 十勝沖の地震

震央分布図

(2001年10月1日~2017年11月30日、
深さ0~200km、 $M \geq 2.0$)
2017年11月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解による



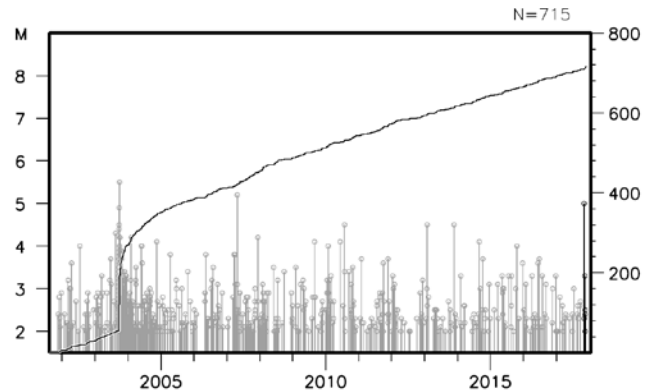
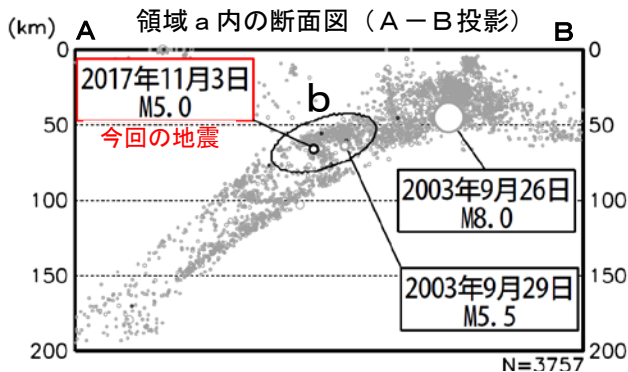
2017年11月3日12時45分に十勝沖の深さ66kmでM5.0(最大震度4)の地震が発生した。

この地震は、発震機構(CMT解)が北東-南西方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が3回発生しており、「平成15年(2003年)十勝沖地震」の発生以降、地震活動が活発になっていた。

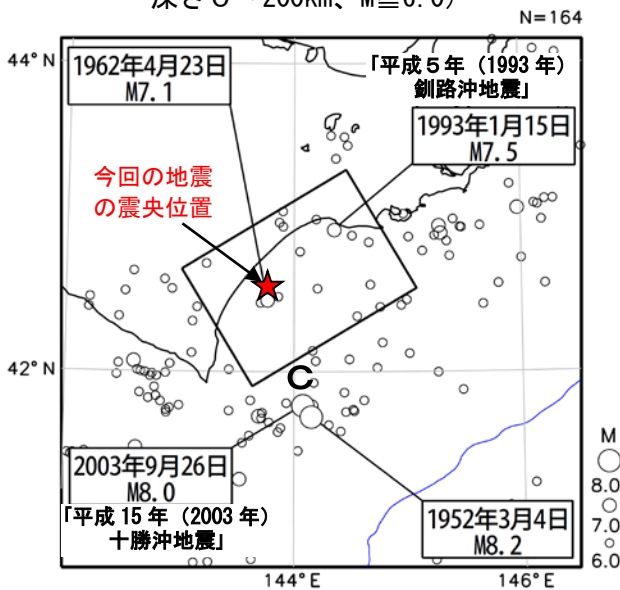
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、今回の地震と同じ太平洋プレート内部で、「平成5年(1993年)釧路沖地震」(M7.5、最大震度6)が発生し、死者2人、重軽傷者967人、住家全半壊308棟等の被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日~2017年11月30日、
深さ0~200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

